

令和6年度

さくらがわ地域医療センター
事業実績報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和7年6月
医療法人隆仁会

目 次

1	総括	1
2	診療実績	2
3	人員体制	5
4	救急診療体制	7
5	地域医療機関との連携・支援、地域医療の質向上のための取組	7
6	健康診断・人間ドック等の実施	10
7	各種委員会の開催	10
8	施設管理	11
9	その他	13
10	収支実績	16

1 総括

令和6年度は、昨年度に続き、指定管理者制度の機動性を活用し、円滑な診療体制の構築に取り組みました。

今年度は、年度を通して、看護職員の応募状況が例年より少なく、採用が一時的に困難な期間もあり、一時的に一般病床を制限した形で入院対応を行いました医師については、新たな常勤採用には至りませんでした。令和7年度より入職可能な消化器外科常勤医師1名の採用が内定しました。

診療面については、昨年同様に一般患者の診療を行いながら、救急対応及び新型コロナウイルス感染症患者及び感染疑い患者については屋外の発熱外来棟を活用し、診察場所を分けた診療を継続しました。今年度は、県内の救急搬送に関する新制度（軽症で搬送された方のうち、救急車要請時の緊急性が認められない場合は、一部の大病院において選定療養費を徴収する制度）が開始されたため、軽症・中等症等を中心とした積極的な受け入れに取り組みました。

経営面については、昨今の、原材料の高騰、為替の円安、人件費の増加による影響や、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した影響により、補助金等の収入が大きく減少し、昨年度と比べると大幅な減収、減益となりました。中期計画で定めた各目標値についても下回る結果となりました。

2 診療実績

(1) 外来診療実績

外来診療については、一般診療の他、屋外の発熱外来棟を活用した発熱外来での診療に取り組みました。平均患者数については、昨年度と比べ0.7人減少となり、発熱外来患者数は年間2,012人減少となりました。

ア 外来患者数

診療科	令和6年度		(参考)令和5年度	
	延患者数	平均患者数/日	延患者数	平均患者数/日
内科	21,675	74.0	21,226	72.2
外科	7,759	26.5	8,063	27.4
整形外科	15,707	53.6	16,325	55.5
小児科	3,532	12.1	4,637	15.8
眼科	7,364	25.1	7,566	25.7
耳鼻咽喉科	2,792	9.5	2,484	8.4
泌尿器科	2,866	9.8	2,662	9.1
皮膚科	3,704	12.6	2,972	10.1
婦人科	1,692	5.8	1,586	5.4
計	67,091	228.9	67,521	229.6

イ (再掲) 発熱外来患者数(新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者数)

日付	患者数			令和5年度比較		
	成人	小児	計	成人	小児	計
2024年4月	174	200	374	28	▲ 92	▲ 64
2024年5月	197	247	444	▲ 23	▲ 39	▲ 62
2024年6月	202	206	408	8	▲ 127	▲ 119
2024年7月	314	258	572	▲ 6	▲ 116	▲ 122
2024年8月	294	223	517	▲ 206	▲ 102	▲ 308
2024年9月	173	225	398	▲ 235	▲ 41	▲ 276
2024年10月	199	220	419	▲ 71	▲ 163	▲ 234
2024年11月	174	250	424	▲ 141	▲ 47	▲ 188
2024年12月	415	276	691	▲ 20	▲ 93	▲ 113
2025年1月	517	197	714	▲ 1	▲ 80	▲ 81
2025年2月	197	184	381	▲ 214	▲ 85	▲ 299
2025年3月	231	150	381	▲ 30	▲ 116	▲ 146
合計	3,087	2,636	5,723	▲ 911	▲ 1,101	▲ 2,012

ウ 外来診療体制

(ア) 期首 【 R6. 4. 1 】

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
外科	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
整形外科	○		○		○	○	○	○	○	○	○	
小児科	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
耳鼻咽喉科				○							○	
泌尿器科			○		○						○	
皮膚科	○				○						○	
婦人科	*○								○	○		

※第4週のみ

(イ) 期末 【 R7. 3. 31 】

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
整形外科	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小児科	○	○	○		○	○	○		○	○	○	
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
耳鼻咽喉科				○							○	
泌尿器科			○		○						○	
皮膚科	○				○						○	
婦人科	*○						○		○	○		

※第4週のみ

(2) 入院診療実績

入院患者数については前年度と比べ、一般病床、療養病床ともに増加となりました。

ア 診療科別入院患者数

診療科	令和6年度		(参考)令和5年度	
	延患者数	平均患者数／日	延患者数	平均患者数／日
内科	17,103	46.7	18,702	51.1
外科	11,313	30.9	8,847	24.2
整形外科	4,605	12.6	5,084	13.9
眼科	374	1.0	402	1.1
計	33,395	91.4	33,035	90.2

イ 病床別入院患者数及び病床利用率

項目	延患者数 (人)	平均患者数 (人／日)	令和6年度 病床利用率	(参考)令和5年度 病床利用率
一般病床(80床)	16,570	45.3	56.7%	55.6%
一般(70床)	15,067	41.2	59.0%	54.4%
包括ケア(10床)	1,503	4.1	41.2%	63.9%
療養病床(48床)	16,825	46.1	96.0%	95.9%
計	33,395	91.4	71.4%	70.5%

(3) 手術実績

昨年同様、外科、整形外科、眼科を中心とした手術を実施しました。今年度は皮膚科の外来手術も積極的に実施し、外来手術件数は増加となりましたが、全体の手術件数は減少となりました。

診療科	令和6年度		(参考)令和5年度	
	外来	入院	外来	入院
内科	24	2	18	6
外科	59	440	90	351
整形外科	213	114	244	271
耳鼻咽喉科	76	0	49	0
眼科	74	377	86	391
小児科	0	0	1	0
皮膚科	69	1	14	0
泌尿器科	1	0	2	1
婦人科	8	0	9	0
計	524	934	513	1,020

3 人員体制

常勤が欠員の生じている整形外科については、年度内での常勤採用には至りませんでしたでしたが非常勤医師による診療体制を構築しました。

(1) 医師数 ※実人数

※期末 【R7. 3. 31】

診療科	令和6年度		(参考)令和5年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
内科	4	11	4	10
外科	2	6	2	5
整形外科	0	15	1	9
小児科	1	5	1	5
眼科	0	6	0	6
耳鼻咽喉科	0	2	0	2
泌尿器科	0	3	0	3
皮膚科	0	3	0	4
婦人科	0	2	0	1
麻酔科	1	1	1	1
健診・その他	1	0	1	0
計	9	54	10	46

(2) 看護職員数

※期末 【R7. 3. 31】

診療科	令和6年度		(参考)令和5年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
看護師	60	7	54	4
准看護師	11	1	14	5
計	71	8	68	9

(3) 人員数推移

職種	期首(2024年4月1日)					期末(2025年3月31日)				
	常勤	非常勤		合計		常勤	非常勤		合計	
		実人数	常勤換算	実人数	常勤換算		実人数	常勤換算	実人数	常勤換算
医師	9	46	6.1	55	15.1	9	54	7.2	63	16.2
看護師	63	5	3.7	68	66.7	60	7	4.8	67	64.8
准看護師	9	4	2.5	13	11.5	11	1	0.9	12	11.9
看護助手(MA)	1	4	2.0	5	3.0	1	4	2.0	5	3.0
介護福祉士	6	1	0.7	7	6.7	6	1	0.7	7	6.7
介護士	4	1	0.7	5	4.7	4	1	0.7	5	4.7
管理栄養士	3	0	0.0	3	3.0	3	0	0.0	3	3.0
栄養士	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
放射線技師	8	0	0.0	8	8.0	6	1	0.1	7	6.1
社会福祉士	2	0	0.0	2	2.0	1	0	0.0	1	1.0
理学療法士	5	0	0.0	5	5.0	5	0	0.0	5	5.0
臨床検査技師	5	0	0.0	5	5.0	5	0	0.0	5	5.0
視能訓練士	3	0	0.0	3	3.0	3	0	0.0	3	3.0
薬剤師	4	0	0.0	4	4.0	4	0	0.0	4	4.0
調剤事務	1	0	0.0	1	1.0	1	0	0.0	1	1.0
事務(管理部門)	4	0	0.0	4	4.0	4	0	0.0	4	4.0
事務(医事/医師事務部門)	17	13	6.2	30	23.2	19	16	9.1	35	28.1
事務(健診部門)	1	3	2.2	4	3.2	1	3	2.6	4	3.6
調理師	2	0	0.0	2	2.0	2	0	0.0	2	2.0
調理補助	1	8	4.6	9	5.6	1	7	4.3	8	5.3
環境整備	0	4	4.0	4	4.0	0	5	4.8	5	4.8
保育士	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
用務(送迎係)	0	3	2.6	3	2.6	0	3	2.2	3	2.2
用務(施設管理)	0	1	1.0	1	1.0	0	1	1.0	1	1.0
合計	148	93	36.3	241	184.3	146	104	40.4	250	186.4

4 救急診療体制

救急搬送患者については、軽症、中等症患者を中心とした受入を行いました。昨年度と比べ、搬送件数については44件増加（昨年度：269件）、ウォークインの救急来院患者については138人増（昨年度：900人）となりました。

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日当り
救急搬送		23	20	21	30	34	18	17	26	30	45	29	20	313	0.9
	軽症	9	9	8	19	16	10	9	11	14	24	10	11	150	0.4
	中等症	13	11	13	11	18	8	8	15	15	19	19	9	159	0.4
	重症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0.0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
来院		49	93	46	91	71	66	52	76	150	230	67	47	1,038	2.8
	軽症	48	92	42	86	68	63	47	67	148	224	66	44	995	2.7
	中等症	1	1	3	5	3	3	5	9	2	6	1	3	42	0.1
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	死亡	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計		72	113	67	121	105	84	69	102	180	275	96	67	1,351	3.7
1日当り		2.4	3.6	2.2	3.9	3.4	2.8	2.2	3.4	5.8	8.9	3.4	2.2	3.7	

5 地域医療機関との連携・支援、地域医療の質向上のための取組

(1) 地域医療機関との連携

今年度は、「茨城県立中央病院 地域医療連携推進懇談会」や「カマチグループ医療連携会」、「筑波記念病院 地域医療連携懇談会」に参加し、医療連携に関する交流・意見交換を行いました。また、昨年度に引き続き、市内外の医療機関・介護施設を直接訪問し、対面にて各担当者と顔の見える関係作り、スムーズな連携のための情報共有に取り組みしました。

ア 紹介された主な医療機関と人数

医療機関名	人数	医療機関名	人数
茨城県西部メディカルセンター	104	けんせいクリニック	31
田崎内科医院	57	自治医科大学付属病院	22
阿部田医院	44	吉原医院	21
茨城県立中央病院	42	大和クリニック	15
筑波大学附属病院	35	その他病院・開業医・クリニック等	704
		合計	1,075

イ アのうち転入院した人数

医療機関名	人数	医療機関名	人数
茨城県西部メディカルセンター	19	筑波大学附属病院	4
茨城県立中央病院	11	大和クリニック	4
けんせいクリニック	11	筑波メディカルセンター病院	3
阿部田医院	6	平島医院	3
田崎内科医院	6	その他病院・開業医・クリニック等	51
		合計	118

ウ 紹介した主な医療機関と人数

医療機関名	人数	医療機関名	人数
茨城県立中央病院	155	協和中央病院	35
茨城県西部メディカルセンター	99	獨協医科大学病院	23
筑波大学附属病院	87	田崎内科医院	21
自治医科大学付属病院	56	大和クリニック	21
筑波メディカルセンター病院	54	その他医療機関	491
		合計	1,032

(2) 茨城県西部メディカルセンターとの医療連携

今年度も2病院の病病連携を図る為、医療連携部門の実務者で構成した「2病院医療連携会議」を毎月リモートにて開催しました。医療連携会議では、HCU病棟・一般病棟・地域包括ケア病床・療養病棟の稼働状況を共有し、転院相談が円滑に進められるよう努めました。その他、病院長等の管理職で構成した「2病院医療連携管理者会議」についても定期的に開催し、さらなる連携強化と2病院の円滑な運営に取り組みました。

紹介患者数	104件
逆紹介患者数	99件

(3) 地域医療の質向上のための取組

桜川市を通じて市内の医療従事者への研修会や市民に向けた健康教室を実施しました。医療機器の共同利用については、市内及び近隣の診療所からの紹介を中心に数多くの検査依頼に対応致しました。

ア 主な研修会・講演会等

○桜川市在宅医療・介護推進連携事業 多職種研修会

看護師の特定行為について

講演：さくらがわ地域医療センター訪問看護ステーション

棚谷和代（特定行為看護師）

○桜川市健康教室

骨を守ろう！忍び寄る骨粗しょう症

講 演：さくらがわ地域医療センター

大島 博（整形外科専門医）

○真壁医師会桜川支部定例会

計 6 回開催

イ 共同利用件数実績

	令和 6 年度	(参考)令和 5 年度
MRI	949	844
CT	307	199

(4) 職場体験（インターンシップ）、病院見学、実習受入

次代を担う人材の育成ため、中学生・高校生のインターンシップ、一日職場体験を実施しました。

ア インターンシップ

岩瀬西中学校 7 名 岩瀬東中学校 1 名

イ 一日職場体験

下館第二高等学校	7 名	岩瀬日本大学高等学校	3 名
鬼怒商業高等学校	2 名	下館第一高等学校	2 名
石岡第一高等学校	1 名	土浦日本大学高等学校	2 名

ウ 実習受入

真壁医師会准看護学院 8 名（成人・老年看護実習）

つくば国際大学 医療保健学部理学療法学科 1 名（前期臨床実習）

茨城県立医療大学 保健医療学部理学療法科 1 名（後期臨床実習）

(5) 訪問看護事業の実施

市内高齢者を中心としたサービス提供を行いました。利用者数は昨年度と比べやや減少となりました。

	令和 6 年度		(参考)令和 5 年度	
	延利用者数	※1日平均	延利用者数	※1日平均
訪問看護利用者	4,758	13.0	5,076	13.9

※ 延利用者数／365 日

(6) その他活動

茨城県看護協会で開催している「まちの保健室」の担当看護師として地域のショッピングセンター等へ出向し健康に関する無料相談を実施しました。

2024年7月17日 下妻イオンにて開催 1名参加

2024年8月21日 下妻イオンにて開催 1名参加

6 健康診断・人間ドック等の実施

事業所による法定健康診断、全国健康保険協会（協会けんぽ）の生活習慣病予防健診・特定健康診査を中心とした健診業務を実施しました。桜川市が実施する検診（人間ドック、特定検診、骨粗鬆症健診）にも引き続き対応いたしました。

項目	令和6年度	(参考)令和5年度
	人数	人数
定期健診	845	826
協会けんぽ健診	1,762	1,703
特定健診	170	124
人間ドック	318	272
骨粗鬆症	475	439
特殊健診(塵肺、特定化学等)	55	42
その他	660	711
職員健診	200	200
計	4,485	4,317

7 各種委員会の開催

(1) 医療安全委員会と医療安全体制について

医療安全委員会、リスクマネジメント委員会を毎月1回開催し、その他医療安全に関わる医療安全推進委員会を週1回開催しました。インシデント・アクシデントレポートをもとに事例を分析し、改善策の検討及び検証を行いました。

ア 委員会の開催

医療安全管理委員会開催回数	13回
リスクマネジメント委員会開催回数	12回
医療安全推進委員会開催回数	48回

イ アクシデント・インシデント報告件数

アクシデント報告件数	10件（前年度 8件）
インシデント報告件数	415件（前年度 328件）

(2) 院内感染対策委員会

新型コロナウイルス感染症への対応を中心とした定期的な委員会を開催し、クラスター発生時は臨時の対策会議を開催しました。院内感染対策委員会の下部組織である院内感染リン

ク スタッフ委員会においては、感染制御チーム（ICT）のラウンドの内容をもとに院内の感染対策の徹底を図りました。

ア 委員会の開催

院内感染対策委員会開催回数	13 回
---------------	------

※臨時開催を含む。

イ 感染制御チーム（ICT）による院内ラウンド

院内ラウンド実施回数	47回
------------	-----

ウ 感染ネットワーク等への参加

○筑西保健所管内感染対策地域ネットワーク WEB 会議

（2024 年 8 月 1 日、2025 年 2 月 10 日、27 日参加）

○新興感染症対策訓練及び感染対策向上加算連携カンファレンス

（2024 年 11 月 28 日参加）

○管轄保健所管内院内医療機関ラウンド

当院の訪問ラウンド（2024 年 12 月 9 日実施）

他院（下妻市：平間病院）の訪問ラウンド（2025 年 2 月 10 日参加）

エ 茨城県西部メディカルセンターとの連携

茨城県西部メディカルセンターが主催するカンファレンスに参加し、感染対策における病病連携に取り組みました。

（2024 年 6 月 10 日、9 月 9 日、12 月 9 日、2025 年 3 月 13 日参加）

※診療報酬上の感染対策に関する加算を算定される医療機関においては、上位加算を算定している医療機関との連携が必要（上位加算を算定している茨城県西部メディカルセンターと親子関係の状況）

8 施設管理

（1） 施設等の保守・点検（医療機器含む）

公立病院の指定管理者として、施設等の保守・点検（医療機器含む）に関する法令やその他の基準等に沿った方法によって保守・点検を行いました。

ア 建物及び建物付属設備の主な保守点検項目

高圧電気及び自家発電設備、消防設備及び防火対象物設備、医療ガス供給設備
浄化槽設備、昇降設備、自動ドア設備 等

イ 医療機器等

X線撮影機器（CT、一般撮影装置等）、磁気共鳴撮影機器（MRI）、臨床検査機器
内視鏡機器（胃・大腸、膀胱、腹腔鏡）、超音波診断装置、輸液ポンプ 等

（2） 施設等の修繕・改良等

ア 病院施設

- 1) 診察室 12、検診待合(男)の外壁からの漏水が確認されたため、外壁タイル目地詰め、内装手直しによる修繕を行いました。
- 2) 2階手術室前室の室外機の吸引管の亀裂による起動不良のため、修繕による修理を行いました。
- 3) 3階システムサーバー室空調室外機 2 台のオーバーホールによる部品交換作業を行いました。

イ 医療機器、システム等

- 1) 2階病棟及び3階病棟に設置してあるベッドパンウォッシャー（3台）の更新を行いました。
- 2) 医療情報システム(電子カルテシステム)の一部クライアント端末(5台)の更新を行いました。
- 3) 検体検査システムを更新し、既存システム同様に、各種検査機器とのシステム接続を行いました。
- 4) 経鼻内視鏡スコープ(富士フィルム社製)の点検時に挿入軟性部の先端側にキズ、剥離が見られたため、修理による修繕を行いました。
- 5) 経鼻内視鏡スコープ(オリンパス社製)の不具合(アングルワイヤーの伸びによる湾曲角度不足)のため、修理による修繕を行いました。
- 6) 病棟用の院内 PHS(6台)が不良のため、修理による修繕を行いました。
- 7) 内視鏡洗浄消毒機の消耗部品の経年劣化による動作不良のため、対象の消耗部品の交換作業を行いました。
- 8) 眼科検査機器(光干渉断層計)の大容量 HDD の交換作業を行いました。

9 その他

(1) 市民への情報公開や病院運営に関する市民参加の推進について

新型コロナウイルス感染症への対応や診療に関する情報については院内での掲示やホームページ等での情報提供を行いました。

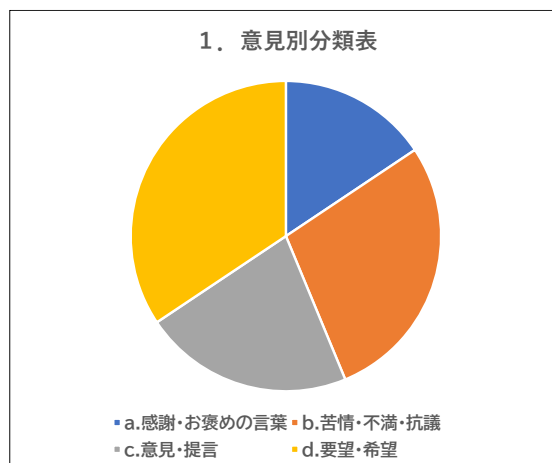
ア 情報発信方法

ホームページ、院内掲示、会議等への参加

イ ご意見箱の内容・件数

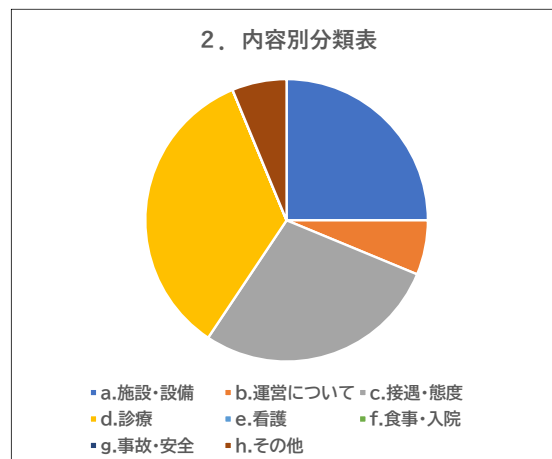
1) ご意見の分類

内容	件数
a. 感謝・お褒めの言葉	5
b. 苦情・不満・抗議	9
c. 意見・提言	7
d. 要望・希望	11
計	32



2) ご意見の内容

内容	件数
a. 施設・設備	8
b. 運営について	2
c. 接遇・態度	9
d. 診療	11
e. 看護	0
f. 食事・入院	0
g. 事故・安全	0
h. その他	2
計	32



(2) 患者及び来院者へのサービス提供

送迎車4台によるドア to ドアの送迎サービスを実施しました。昨年度と比べ利用者数は減少となりました。

ア 無料送迎利用者数

項目	令和6年度	(参考)令和5年度
送迎利用者数	7,566	8,188
*1日当りの利用者数	25.9	28.0

※迎え、送り、それぞれ1件とした合算件数

(3) 窓口職員等の接遇について

外部委託会社による接遇（窓口対応・電話対応）に関する覆面調査及び職員への接遇意識調査を行いました。調査後は報告書をもとに課題点を共有し、接遇向上に向けた取り組みを実施しました。

*覆面調査：匿名による電話での調査、調査員の来院による5項目（身だしなみ・挨拶・表情・姿勢・言葉遣い）の調査

*接遇意識調査：職員が日頃、どのような接遇を意識しながら患者対応や業務を行っているかを調査し、弊害となる考えを抽出し接遇研修の資料に反映することを目的に実施

ア 接遇の覆面調査結果

今回の調査結果は、5段階評価にて「3.96」で前年度の調査結果と比較してすべての項目で評価がアップした結果となりました。「挨拶」の項目では前年度より高い評価につながりましたが、今回の調査結果を見ると「先手挨拶」「積極的な声掛け」の実施が不十分であり、また、事務的・機械的な印象を残している方が全体の評価を下げた結果となりました。

イ 接遇意識調査結果と今後の課題

今回の調査結果では、「接遇のお手本」となる人がいると回答された方が増えており、職場内に模範となる職員の接遇意識の高さを学んでいる様子が伺えました。調査結果から推測すると、接遇の手本というより人間性（優しさや公平性、礼儀正しさなど）を手本としており、接遇の指導は、「注意」や「指摘」することで改善させることは大変難しいため、手本となる方職員実際に良い接遇を見せて「相手はどう感じるのか」などを考えさせる接遇教育が今後の取り組みに必要だと感じました。

(4) 災害時体制の見直しと訓練の実施

災害対策マニュアル、BCP（事業継続計画）、災害発生時の対応についての見直しやライフライン、備蓄物品の点検、確認を行いました。また、震災の他、サイバー攻撃を想定した訓練を実施し、ネットワークセキュリティの脆弱性に対する今後の対策を検討しました。

(5) 職員の健康管理について

昨年度に引き続き、各個人の携帯電話（スマートフォン等）による報告可能な健康管理システムを活用し、出勤日の他、休日も含めた全職員の健康管理努めました。

(6) 外部機関等による検査・調査の状況

ア 医療法に基づく保健所立入検査について

令和6年10月24日に茨城県筑西保健所による立入検査が実施されました。文書による指摘事項はありませんでしたが、改善が望ましい事項として口頭にて指導・助言いただいた事項については改善に努めました。

イ 施設基準に係る適時調査について

令和 7 年 3 月 7 日に関東信越厚生局による施設基準に係る適時調査が実施されました。調査の結果、届出加算の一部が基準を満たしていない期間が確認されたため、指摘事項に沿った改善に努めました。

ウ 消防法に基づく消防立入検査について

令和 7 年 1 月 2 0 に消防署職員による立入検査が実施されました。改善を要する事項はありませんでした。

10 収支実績

科目	令和6年度		令和5年度		比較	
	金額(円)	対収益比	金額(円)	対収益比	金額(円)	比率
入院収益課税	10,921,404	0.6	10,044,286	0.5	877,118	108.7
入院収益非課税	2,964,756	0.1	3,316,412	0.1	△ 351,656	89.4
室料差額収益	13,074,270	0.7	14,514,050	0.7	△ 1,439,780	90.1
窓口自費収入	8,621,874	0.4	6,818,947	0.3	1,802,927	126.4
保健予防活動収益	142,425,775	8.0	142,759,216	7.4	△ 333,441	99.8
受検査施設収益	13,201,963	0.7	10,230,682	0.5	2,971,281	129.0
社会保険収入	312,771,894	17.5	355,223,839	18.4	△ 42,451,945	88.0
国民保険収入	247,716,822	13.9	305,841,767	15.9	△ 58,124,945	81.0
自賠責保険収入	5,510,689	0.3	7,531,215	0.3	△ 2,020,526	73.2
労災保険収入	10,230,490	0.5	9,860,079	0.5	370,411	103.8
後期高齢者医療	1,008,444,671	56.6	1,050,935,824	54.6	△ 42,491,153	96.0
その他医業収入	4,394,154	0.2	5,094,619	0.2	△ 700,465	86.3
医業収益 計	1,780,278,762	100.0	1,922,170,936	100.0	△ 141,892,174	92.6
医師給	375,520,176	21.0	369,309,574	19.2	6,210,602	101.7
常勤医師	148,352,024	8.3	190,962,216	9.9	△ 42,610,192	77.7
非常勤医師	227,168,152	12.7	178,347,358	9.2	48,820,794	127.4
看護師給	342,277,434	19.2	348,859,817	18.1	△ 6,582,383	98.1
技術員給	137,063,812	7.6	139,330,229	7.2	△ 2,266,417	98.4
事務員給	108,348,083	6.0	105,197,444	5.4	3,150,639	103.0
労務員給	30,133,354	1.6	32,991,510	1.7	△ 2,858,156	91.3
他給与	1,556,911		1,580,000		△ 23,089	98.5
退職金	1,705,265		2,620,854	0.1	△ 915,589	65.1
法定福利費	112,870,760	6.3	122,488,561	6.3	△ 9,617,801	92.1
給与費計	1,109,475,795	62.3	1,122,377,989	58.3	△ 12,902,194	98.9
期首材料棚卸高	26,191,091	1.4	17,771,368	0.9	8,419,723	147.4
医薬品費	185,804,558	10.4	184,648,511	9.6	1,156,047	100.6
医療消耗器具備品費	172,789,008	9.7	261,154,846	13.5	△ 88,365,838	66.2
給食用材料費	23,582,840	1.3	23,846,414	1.2	△ 263,574	98.9
期末材料棚卸高	25,237,058	1.4	26,191,091	1.3	△ 954,033	96.4
材料費計	383,130,439	21.5	461,230,048	23.9	△ 78,099,609	83.1
検査委託費	47,058,596	2.6	63,506,085	3.3	△ 16,447,489	74.1
寝具委託費	3,546,047	0.1	3,448,895	0.1	97,152	102.8
医事委託費	18,369,635	1.0	5,355,681	0.2	13,013,954	343.0
保守委託費	48,119,131	2.7	46,568,475	2.4	1,550,656	103.3
委託管理費	39,817,136	2.2	52,433,551	2.7	△ 12,616,415	75.9
委託費計	156,910,545	8.8	171,312,687	8.9	△ 14,402,142	91.6
減価償却費	14,840,913	0.8	13,452,366	0.6	1,388,547	110.3
機器賃借料	22,699,336	1.2	20,366,500	1.0	2,332,836	111.5
地代家賃	2,124,302	0.1	1,734,000		390,302	122.5
修繕費	10,718,081	0.6	11,384,569	0.5	△ 666,488	94.1
車両関係費	2,060,350	0.1	2,024,253	0.1	36,097	101.8
燃料費	7,303,233	0.4	7,277,398	0.3	25,835	100.4
設備関係費	59,746,215	3.3	56,239,086	2.9	3,507,129	106.2
研修費	1,660,670		2,308,830	0.1	△ 648,160	71.9
研究研修費	1,660,670		2,308,830	0.1	△ 648,160	71.9
福利厚生費	2,589,730	0.1	2,686,833	0.1	△ 97,103	96.4
旅費交通費	30,414,291	1.7	29,939,358	1.5	474,933	101.6
職員被服費	1,687,147		286,560		1,400,587	588.8
通信費	6,480,724	0.3	6,850,761	0.3	△ 370,037	94.6
広告宣伝費	609,400		1,221,429		△ 612,029	49.9
消耗品費	18,958,409	1.0	21,546,135	1.1	△ 2,587,726	88.0
消耗器具備品費	1,049,850		2,478,182	0.1	△ 1,428,332	42.4
会議費	25,795		121,800		△ 96,005	21.2
水道光熱費	65,145,668	3.6	54,950,302	2.8	10,195,366	118.6
保険料	9,030,011	0.5	9,135,764	0.4	△ 105,753	98.8
交際費	53,704		248,710		△ 195,006	21.6
諸会費	2,964,700	0.1	3,394,141	0.1	△ 429,441	87.3
租税公課	663,400		1,032,720		△ 369,320	64.2
寄付金	330,000		795,000		△ 465,000	41.5
新聞図書費	649,713		681,560		△ 31,847	95.3
衛生管理費	25,385,907	1.4	26,569,103	1.3	△ 1,183,196	95.5
雑費	301,237		123,660		177,577	243.6
消費税等	20,805,769	1.1	19,591,461	1.0	1,214,308	106.2
経費	187,145,455	10.5	181,653,479	9.4	5,491,976	103.0
医業費用 計	1,898,069,119	106.6	1,995,122,119	103.7	△ 97,053,000	95.1
医業利益	△ 117,790,357		△ 72,951,183		△ 44,839,174	161.5
受取利息	3,851		59		3,792	6527.1
指定管理料収入	126,808,000	7.1	117,448,000	6.1	9,360,000	108.0
雑収入	11,432,476	0.6	14,457,764	0.7	△ 3,025,288	79.1
医業外収益 計	138,244,327	7.7	131,905,823	6.8	6,338,504	104.8
支払利息	1,458,371		1,203,834		254,537	121.1
雑損失	872,213		2,377,207	0.1	△ 1,504,994	36.7
指定管理者負担金	18,006,298	1.0	14,915,620	0.7	3,090,678	120.7
施設利用料	8,712,000	0.4	7,776,000	0.4	936,000	112.0
医業外費用 計	29,048,882	1.6	26,272,661	1.3	2,776,221	110.6
医業外利益	109,195,445	6.1	105,633,162	5.4	3,562,283	103.4
経常利益	△ 8,594,912		32,681,979	1.7	△ 41,276,891	
補助金収益	11,257,600	0.6	35,699,200	1.8	△ 24,441,600	31.5
臨時収益	11,257,600	0.6	35,699,200	1.8	△ 24,441,600	31.5
固定資産除却損	0		26,500		△ 26,500	
固定資産圧縮損	0		0		0	
臨時費用	0		26,500		△ 26,500	
臨時利益	11,257,600	0.6	35,672,700	1.8	△ 24,415,100	31.6
税引前当期純利益	2,662,688	0.1	68,354,679	3.5	△ 65,691,991	3.9
法人税等負担額	8		7		1	114.3
当期純利益	2,662,680	0.1	173,489,500	9.3	△ 170,826,820	1.5